

## 編集後記

会報 15 号を掲載いたしました。皆様ぜひお読みください。今回は、日本農学アカデミーが設立されてから 12 年が経過しましたので、特集として「日本農学アカデミー 12 年の歩み」を企画しました。私を始め、日本農学アカデミーが設立されてから入会した会員も増えてきました。そこで今回の特集では、設立に関わった方々を中心に原稿をお願いいたしました。多くの方々から原稿が寄せられました。感謝申し上げます。

設立に関わった方々の多くは、日本学術会議第 6 部（農学）の会員でした。しかしこの間、学術会議の大幅な改組により、第 6 部（農学）は消滅し、多くの会員は第 2 部（生命科学）に所属することになりましたが、会員数も減少してしまいました。また会員選出も学術会議自身で行うことになり、従来の研究連絡推進委員会からの推薦もなくなり、その結果、学会と学術会議の絆が無くなってしまいました。

従って日本農学アカデミーだけが、農学者の纏まりになってしまいました。設立に関わった方々は、数年後のこの状況を予見して、農学アカデミーを設立したのでしょうか。そうだとすると、先見の明があったことになります。そのような設立の経緯を将来につたえることも我々の責務ではないかと思ひ、この辺りで農学アカデミーの歴史を一旦纏めることにより、農学の将来を考える礎にしたいと思った次第です。

(総務企画担当 會田勝美)